



新井北小学校



所在地 妙高市栗原4丁目4番1号

電話 72-2503 FAX 72-2933

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araiki-s/otayori/>

1 学校の概要

- (1) 創立 大正5年8月31日
- (2) 教職員 校長 西條 敏一 教頭 松葉 大吾
教諭 15名 非常勤講師 1名 養護教諭 1名
事務員 1名 臨時用務員 1名 ALT 1名
教育補助員 1名 特別支援教育支援員 5名
- (3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	2	18	25	43
第2学年	1	9	16	25
第3学年	1	11	22	33
第4学年	1	13	16	29
第5学年	1	17	20	37
第6学年	1	13	18	31
特別支援	4	23	2	25
合 計	11	104	119	223

2 学校経営の基本構想

- (1) めざす学校像
- ①夢と思いやりにあふれ、すべての子どもが伸びる学校
 - ②地域コミュニティとして、地域の活性化に貢献する学校
- (2) 実現に向けた具体的な方策
- ①〇人権尊重の精神に基づく「あいさつ」「ありがとう」「ごめんなさい」の徹底と、感性を豊かにするほんもの体験によって、すべての子どもが「明日も登校したい。みんなで伸びたい」と思う学校をつくる。
→**やさしく**かんじる力（豊かな心部）
 - 〇夢と情熱をもって不断の授業改善に挑み、すべての子どもが考えを深めて「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」「もっと学びたい」を実感する授業を行う。
→**かしこく**かんがえる力（確かな学力部）
 - 〇すべての子どもが目標と見通しをもち、自分らしさを発揮しながら最後までやり抜く活動を工夫して、健康でたくましい心身をはぐくむ。
→**つよく**やりぬく力（たくましい体部）
 - ②〇地域とともにある学校「地域と協働」
地域を知り、地域に学び、地域に出て、地域に発信、地域をつくる。「キャリア教育の充実・生活、総合を核とした学び」
・SDGsを視野に入れた実践の積み重ね

3 教育目標

〇つよく やさしく かしこく

4 年度の重点取組事項

- 1 SDGsを基軸とした学校運営及び実践
- 2 いじめ見逃しゼロを目指した学校づくり
- 3 読解力の向上に向けた授業の工夫
- 4 メディアの約束を守るための継続指導

5 研修計画

- (1) 研究主題
対話的な学習活動を通して、学びを深める子どもの育成
- (2) 主題設定の理由
令和3年度の標準学力検査（NRT）では、学校全体として、全国水準を上回った。しかし、全体的に思考力や判断力を問う問題の正答率が低く、初見の長い文章の読解に苦手さを感じる児童が多い傾向にある。また、タブレット端末の導入により、少人数での話し合いは一定の成果を上げたと考えられるが、学級全体での話し合いには苦手意識をもつ児童がいる。
特別支援学級に在籍する児童はもちろんのこと、その他にも、話を聞くのが苦手な児童、大勢の中で落ち着いて学習をすることが苦手な児童等、学習する際に特別な教育的支援を必要とする児童も多い。
そこで今年度は、上記研究主題を掲げ、対話的な学習について研修を深めていくこととした。
- (3) 研究内容
- 〇対話的な学習活動を取り入れた授業構想
 - 〇目的意識と考える根拠をもたせるための工夫
 - 〇読解力の育成を意識した授業改善

6 SDGs推進計画

- 〇生活科、総合的な学習の時間での学習活動とSDGsの取組を関連付け、実践を行う。年度当初作成する生活・総合年間計画内に、SDGsとの関連を位置付ける。
- 〇年度末に実践の振り返りを行い、次年度に生かせるようにする。
- 〇実践に当たっては、地域コーディネーターと連携した外部人材の活用を行いながら「ほんもの教育」を重視していく。

7 主な行事の予定

- 4月：始業式、入学式、1年生を迎える会、避難訓練
- 5月：体育大会、交通安全教室
- 6月：プール清掃、5年宿泊体験学習
- 7月：夏のなかよし班まつり、終業式
- 8月：始業式
- 9月：避難訓練、縦割り班遠足、マラソン大会
- 10月：6年修学旅行、かがやき発表会
- 11月：弁当の日、作品展
- 12月：冬のなかよし班まつり、終業式
- 1月：始業式、避難訓練
- 2月：なわとび大会、高学年・中学年スキー教室
- 3月：6年生を送る会、終業式、卒業式